

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2023年度）>

再生可能エネルギーの地産地消を実現する高容量・高安全な全固体電池の材料開発

1. 事業概要（蓄電池利用促進分野、フェーズB）

【内容】オール酸化物の全固体Naイオン電池の材料開発

【背景】分散型エネルギーシステムの実現および再生可能エネルギーの普及に向けて、低コストで信頼性の高い蓄電池の実現が望まれている。

【狙い】低コストかつ高安全性・低い材料調達リスクを誇る全固体Naイオン電池の実現に貢献するため、高容量化に資する全固体Naイオン電池の材料を開発する。

【事業化】再生可能エネルギーの地産地消を可能とする全固体Naイオン電池の実現、そしてそのような電池を実現するための電池材料を開発し、事業化を目指す。特にコーティング技術開発を行い、コーティングにより複合化した活物質材料の事業化を狙う。



2. 株式会社豊島製作所

本社所在地	東松山市下野本1414
設立／資本金	1945年/10,000千円
従業員数	212名（令和5年7月現在）
事業内容	【MS事業部】薄膜材料の開発・製造 【PT事業部】冷間鍛造加工及びプレス加工（切削+アッセンブリ）

3. その他機関

機関名：一般財団法人電力中央研究所

豊島製作所で開発する、コーティングした各種電池材料粉末を用いて全固体電池を試作し、電池性能を評価する。この試作・評価を通じて、コーティング技術が高容量化・再現性向上に資する材料技術であるかの検証を行う。また、電池の高容量化を目指して、コーティングした材料に適した電池材料の選定や電池材料の組み合わせ条件などの最適化を行う。